

暑い夏が過ぎたと思ったら、早いもので今年も残すところ2ヶ月です。皆さまも寒暖の差に体調をくずさぬよう、気をつけてお過ごしください。

ごけい たより  
**互恵便り** 第32号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…  
**NS 中谷石材株式会社**  
〒761-0121  
高松市牟礼町牟礼3766-1  
電話 087-845-5006



10月8日 牟礼町白羽神社・ちようさ祭り

やっぱりええわあ、“祭り”の主役はチョウサやあのう



写真 中谷石材(株)大川工場 奥野 武



さぬき市大川町 富田神社

1、可愛い女の子の写真は本祭り前の9月24日、田面地区の小神様15箇所、不動明王様の計16ヶ所を獅子使いさせて頂いた時のものです。奥野



## 中谷石材グループ 『下期実行計画発表会』開催しました

9月30日（土）。全社員が一同に会して『下期実行計画発表会』を開催しました。当社は世の中の変化に対応した体制作りを進めるべく、事業構造変革に取り組みます。

お陰様です。  
今期も上半期があつという間に過ぎ、10月から下半期に入りました。今期から当社の成し遂げて行かなければならない目標は「事業構造の変革」で、今までの石材が中心だった1事業部から、石材事業部と草むしり事業部の2事業部制への変革です。昨今の供養産業の変化に対応した体制作りを目指して、本格的に取り組んでいます。

葬儀の多様化が進み一般葬から家族葬に、納骨もお墓から永代供養墓、樹木葬、散骨等へと色々と変化しています。コロナ感染症の発生から人々が集まるのが敬遠されて、それ以降、供養に関する今までの習慣が変化しています。社会全体がその変化を良しとする傾向になり、今までの「納骨」お墓「石」という慣習は減少しつつあります。

そんな中、会社の方針にある「終生就業支援」の草むしり事業を本格的に推進していく方向が定まりました。今後は石材と草むしりの二本立てで事業に邁進して、社員の雇用を守っていきたくと思います。

上半期最終日9月30日、全社員が会場に参集し、グループ各社はリモート参加にて下半期に向けた計画の発表を致しました。

休憩後、周知会が行われました。まずは4月から取組んで来た半年間の実績をリーダーが検証。その後、残りの半年をどのように進めていくかを全員で話し合いました。当社では経営リーダーと社員が一緒になってミーティングをするようなことは今まで殆どありませんでした。

最初は戸惑いも見られましたが、徐々に場も和らぎ、1時間30分という時間があつという間に過ぎました。今回、初めての試みでしたが、非常に濃密な内容の発表会となりました。



時代の変化を認識して、これから地域に役立つ事業を進めることを確認し合いました。

社長 中谷明生

この日は私は、社員を信じるこの大切さを痛感しました。若手リーダーたちの成長を目的の当たりになりました。大きな目標を成し遂げるためには全員が心合わせて進めていくしかありません。そのためにも、今回のセレモニー後の周知会は本当に意味のあることでした。これからの改革に向けてのいい場が作れていたと思います。

経営者は、社員が職業人としても人間としても成長する機会を奪ってはいけません。中谷石材はより一層お互い同士を喚起しながら、良い方向に向けて邁進したいと思えます。



## 「無縁墓」のご供養も大切にします 白蓮寺の「三界万霊塔法要」

9月22日（金）、白蓮寺さまのご先導のもとで各部署の代表者が参列し、今年も年に一度の『三界万霊塔法要』が執り行われました。



当社ではお墓をお守りする継承者がいなくなったり、代々墓にまとも合祀した後に残る（字を彫っている）仏石をお預かりして永代供養をさせていただいております。

以前に阿弥陀寺さまをご紹介しましたが白蓮寺さまが初めて、大川工場に近く、前々工場長と前任職が知人であったことから空き土地の活用ということでご理解を頂いて設置が始まりました。

お寺にとつては副収入にもなり、門徒に負担を掛けずにお寺の修復等に活用されています。白蓮寺さまは数年前からは置き場所が無くなり、その後、親寺である阿弥陀寺さまにもお願いして、当社でのご供養を続けております。



## 中谷石材(株)「わたしの仕事」



## 「配送とクリーニング」 中川 拓

はじめまして。中谷石材配送センターの中川拓です。どうぞよろしくお願ひします。

僕は1996年(平成8年)生まれで、庵治町の出身。今年で27才になります。高校を卒業してすぐに、中谷石材に入社しました。学校に来ていた求人を見て応募したのですが、ものづくりが好きだと言うこともあり、ここなら面白そうかなというのが選んだ理由です。

### ここなら面白そうと 中谷石材を選んで 入社しました

最初の職場は大川工場でしたので、片道50分くらいかけて毎日通っていました。男ばかりの職場で最年少でした。最初は恐い感じがしましたが、話すともみんな優しくすぐに馴染むことができました。入った初日から元工場長の富田さんの下で、切削の仕事を携わりました。富田さんも男は黙って仕事するというタイプの人ですが、話すとも優しく、頼りになる上司でした。当時の工場は活気があって、毎日15人ほどが機械に向かっていました。4年経ったところに配送セン

ターに異動になり今の仕事をやるようになった。私の仕事は大きく2つあります。

### 大川工場から 配送センターへ異動

ひとつは配送です。製品の墓石をクレールン付きトラックを使って、多くは岡山などに運んでいます。

外注した製品の場合はすべて、一旦、配送センターに運ばれて降ろされますが、それを検品するのも私の仕事です。当社の大川工場・庵治工場から来るものはきちんと荷造りされているので心配はいりません。しかし中国から来る外注製品は、木枠梱包の開梱をして出荷基準をクリアしているか、寸法に間違いはないか、欠損はないかなどを調べた後で、再度荷造りをして車に積みます。わざわざ荷ほどきをして検品し、また荷造りをして直すというのは手間ですがそれをするのが会社の方針で、これが中谷石材の良さだと私は思っています。

配送する目的地までは一時間半から遠い所だと二時間半くらいの時間をかけて、一人で運びます。降ろすのも、向こうから持って帰るものを積むの

も一人ですが、苦と思ったことはないですね。自分一人に任されているというところにやり甲斐を感じています。

一度岡山で交通事故に遭ったときは、さすがに慌てました。知らない土地ですしね。本社の渡邊さんが迅速に対処してくれたので、万事スムーズに運んで有り難かったです。あのときは、横を走っていた車が急に車線を変えて僕の車にぶつかってきたんです。相手はけっこうご年配の方で、二道を間違えたけん、急いでハンドル切ったらあんたがおったんや。」と謝っておられました。みなさんも事故には気をつけてくださいな。

僕のもうひとつの仕事は、お墓のクリーニングです。これは現場でやる場合と、会社に持ち込んでやる場合とがあります。工場の方が設備も揃っている仕事しやすいのですが、僕は現場で綺麗にするのが好きです。

最後にクリーニングが終わった後の墓石を現場で眺めるときは、最高ですね。いつも写真を撮ります。直接お客さまの声を聞くことはほとんどありませんが、こんなにキレイになつたんか、と喜んでくれるお客さまの顔を想像するん

です。自己満足かもしれないませんが(笑)。

### 20代の若い自分に 現場を任せてくれる その信用に応えたい と頑張っています!

配送も墓石クリーニングも、まだ20代の僕に現場を任せてくれているところにやり甲斐を感じていますし、会社の魅力があると思っています。自分を信用してくれていることに応えようと、毎日そんな風に思っています。僕は子どもが3人いて子育ての真っ最中なんです。家族のためにも自分のためにも、そして会社と働く仲間のためにも一生懸命仕事に取り組んでいこうと思っています。

その気持ちの結果として、お客さまが喜ぶ仕事ができていることになっていれればいいなあと願っています。





## 『久米山墓地公園』の新しい名前が決まりました！ 高松久米山 やすらぎの杜(もり)

久米山墓地公園からの眺めと、これからご案内予定の『樹木葬』の現状写真です。納骨室の据付が90%ほど完了しました。残り10%の設置を行った後は草花の植栽を行って完成となります。

久米山墓地公園 高松市東山崎町1098  
■お問い合わせ 電話 087-847-4939



大きさが違う3つのタイプの碑は、すべて庵治細目石の特上品を用いて建立し、個人墓・夫婦墓・家族墓と、お客様のご希望に添った対応が可能です。



私たちがお待ちしております。

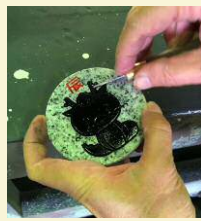
## 石材会社だからこそ、自社で作れる“ご来場記念品”です！

ふれあい祭りのご来場記念にお渡しする干支のコースターを、今年もたくさんご用意しました。十二支集めようと、毎年楽しみにしていられる方がいるプレゼントとなっています。今回からは大川工場のほかに庵治工場の石工の皆さんも加わって丸板を作成。字彫課が彫刻と仕上げを担当して、来年の干支のコースターを完成させました。改めて、ふれあい祭りでお渡しできるのを楽しみに作成した工程をご紹介します。



筒を切ってグラインダーで平らにして研磨機にペーパーをつけて、ピカピカに手磨き仕上げ！

丸板に干支のイラストをカットしたゴムを貼ります。



干支のゴムを切りぬいてから、その図柄を彫刻。次に塗料を吹き付けると、彫った溝の中にしっかりと塗料が入ります。

ゴムを剥がしてから、細かい場所へ筆入れをして完成！今年も喜んで頂けたでしょうか～♪





# 「草むしり日記」 No.56



スタートしたときは遠山文士さんがたった一人の草むしり事業部が13年の歳月を経て、石材事業部と並ぶもう一つの大きな柱の事業部へと成長しました。これまで当事業部をご利用くださり、支えて下さったお客様と共に頑張ってくれた仲間たちにも改めて感謝申し上げます。

## 「知り合いがおらんでも、皆とワイワイやれるじゃろう…」八木 博さん (74才)

### 大型車の運転手から 草むしりの仲間へ

八木さんのキャリアは大型車の運転手。大きなトラックに列車の如く貨物車を連結した車両など様々な大型車のハンドルを握り続けたそうである。ドライバーを

八木さんは昭和24年、現在のさぬき市昭和生まれ。ご家族は奥様と息子さん、娘さんの4人家族だが、「今は独り暮らしじゃ」と。お子さんは独立され、奥様はご実家の農業にご多忙とのことで、さぬき市志度で謎のシングルライフを満喫？している。

スーパーカブに跨がった、我々には馴染みの八木さんの出社シーンだ。誰しもが親しみを憶えてしまう柔和で温厚な佇まい、佐々木班の斬り込み隊長(個人の意見です)、八木洋さんはどんな方だろう。

「ホ□□□□□…」



リタイアした後に、草むしりに飛び込んだ理由を尋ねてみた。「地元の安定所で仕事を相談したら笑われたじゃろ(笑みを返してくれただけだと思っが)そんな折に草むしりのチラシが入っていたのだぞうだ。運命を感じた？」

「他に無いからじゃ」

「ここに参加してみても感想は？」

「夏はえれえのお」

「やはりか……」  
そんな中で得意にしていることを尋ねてみるも、やはりご本人は多くを語らず。

やむ無く、「僕の名を絶対に出さないのなら」という条件で、○須賀サブリーターに八木さんを評してもらおうと……。「温厚でおしゃべりですかね」。そこで、仕事ぶりを知りたい！と大○賀サブリーターに更に食い下がってみると、「うーん…マイペースかな」…と。

「うーん」と、「松の魔術師」と河野さんにすがるしかない！と

河野さんは「オールマイティプレイヤーかな」と評してくれた。

先述のスーパーカブで、県内の山々に出かけるのが八木さんの目下の楽しみだそうだ。「山登りはしないけどね、こねーだはクルマを拾ったわ」と目を細める。

そんな八木さんに改めて尋ねてみた。

### おっちゃん同士 ワイワイ一緒の日々

えれえ暑さの中、鬼軍曹(失礼)の罵声(ごめんなさい)を浴びながらも続けられるのは？

「あんだ、ワシは50年余所におったじゃろう。こつちに知り合いがおらん。ホンマにおらんわ」

「そんなんでも皆とワイワイやれるじゃろう」と、胸の内にある思いを打ち明けてくれた。

「お疲れっ！」「お先っ！」とおっちゃんらの威勢の良い声が飛び交う中、「さようなら」異彩を帯びた八木さんの、軽快でやや安気な挨拶が、斜陽が奥深く差し込む草むしり倉庫に響き渡った。

源九郎



佐々木班の休憩時間



Before



After



お庭の困り事のご相談は…  
草むしり.com 高松

フリーダイヤル

0120-148-144

## 今月の社長のコラム

先日のごことでした。次男の嫁からメールが届き、今日の集まりに出席できなくて残念ですと書かれていました。今日は何かあったかなと思いだしてみるのですが分かりません。聞いたところ、10月で70才になる私の古希の祝いを子供たちが準備しているとのこと。私には息子が三人いるのですが、一番下だけ遠い神奈川県で暮らしています。お盆に帰省できなかった三男家族が帰って来るのに合わせて、古希の祝いを用意したとのこと。驚きましたが、大変うれしかったです。

### 思いがけない、「古希の祝い」

6人の孫も勢揃いしました。私への絵と手紙が用意されていて、孫が手紙を読んでもくれたときはさすがにジーンと来ました。ありがとうという気持ち、自然と胸に湧いてきました。普段は仕事の忙しさもあり、誕生日のことなどほとんど気にもかけません。加えて会社の大変革



本当に思いがけないうれしい時間でした。これから先も、このような写真が撮れるように生きおしたいと思います。

期です。そんな私の心境を家族も感じ取り、少しは気が抜けることを考えてくれたのだと思います。

70才を迎える気持ちを誰かに聞かれたのですが、一言で言いますと「思えば遠くへ来たものだ」というところでしょうか。還暦のときは意外とサッパリとした気持ちでした。心の中にまだまだ若いという気持ちがあったためだと思えます。今回はさすがに、昔と較べると老いたなあというのが正直なところではあります。

先ず、目の衰えを実感します。それと注意力でしょうか。散漫になりました。だから車の運転は気をつけなければいけません。たまたまテレビで高齢者ドライバーの運転能力テストの様相を見たのですが、番組の最初こそ笑っていましたが、途中から他人事とは思えず笑いが出なくなりました。十分注意して運転するように、いつそう心がけたいと思います。

これからやってみたいことがありますか？とも聞かれました。これは仕事とは関係ありませんが、列車で旅をしてみたいです。立派な客車ではなくて、ローカル線の旅。それも飲みながら、いわゆる「飲み鉄の旅」です。最北の稚内から海を眺めながら下ってみたいと思います。

これから3、4年で会社の変革を仕上げる予定です。夢が叶うのはもう少し先になるでしょう。それでも来年あたり、ちよこつと四国を廻って飲み鉄の旅の練習をできればと考えています。

社長 中谷明生

## 社内報 大川、庵治工場 「つづやきパレット」 9月号より



9月16日に庵治工場にて行われた、第6回全社一斉環境整備のことについてお話しします。

自分のメンバーは、機械3台の掃除で、その中の自動切削機は、かれこれ数十年汚れを落としてなく、へらですすってやつとのおもいで綺麗になりました。

僕の班だった皆さんに感謝です。これからは機械の掃除の回数を増やしたいと思います。

庵治工場 中野哲也



一斉環境整備では、普段は離れた場所で働く社員が集まりみんなで掃除をします。コロナの扱いが変わり、復活出来て良かったです。^^



白蓮寺法要の準備風景



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...

# 中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1  
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松  
フリーダイヤル 0120-148-144